

下水道事業経営戦略の改定について

人口減少や施設の老朽化による更新など、下水道事業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。このような中で、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図り、安定的に事業を運営していくことを目的として、使用料水準の見直しを含む経営戦略【改定版】（令和6年度～令和15年度）を策定しましたので、連載でお知らせします。

☎ ガス上下水道部下水道課 ☎ 24-2229

第5回 財政収支予測結果について

「検討ケースに関する整理表（図①）」に基づき、財政収支予測については、使用者の負担を考慮し、【ケース2】で作成することとし、その結果は以下のとおりとなります（図②）。

また、本市の下水道料金は、現在、県内14市中低い方から5番目となっていますが、令和7年度に13.3%の料金改定を行った場合、県内14市中低い方から7番目となります。

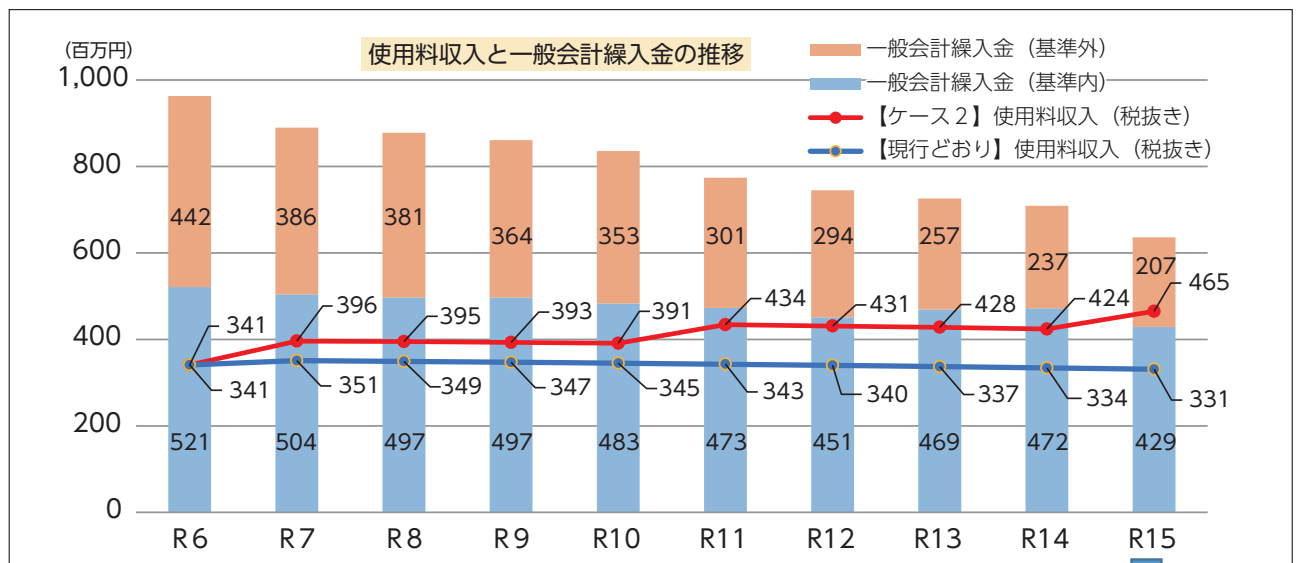
【検討ケースに関する整理表】 ※再掲（広報10月号に掲載）

（図①）

| 改定検討ケース | 改定時期 | 改定率 | 将来予測 事業運営・経費回収率・使用者負担 | 資金確保 の観点 | 費用負担 の観点 | 実現可能 性の観点 |
|---------|----------------------------------|--------------------------------|--|-------------|-------------|--------------|
| ケース1 | 令和7年度 令和11年度 令和15年度 | 6.4% 12.7% 19.1% | ・安定的な事業運営が可能 ・経費回収率の改善が図られる ・合併処理浄化槽利用者より負担が小さい | △ | ○ | ○ |
| ケース2 | 令和7年度 令和11年度 令和15年度 | 13.3% 26.7% 40.0% | ・安定的な事業運営が可能 ・経費回収率の改善が図られる ・合併処理浄化槽利用者と負担がほぼ同じ | ○ | ◎ | ○ |
| ケース3 | 令和7年度 令和11年度 令和15年度 | 19.7% 39.4% 59.1% | ・安定的な事業運営が可能 ・経費回収率が大きく改善される ・合併処理浄化槽利用者より負担が大きい | ◎ | △ | △ |
| ケース4 | 令和7年度 令和11年度 令和15年度 | 31.8% 63.5% 95.3% | ・安定的な事業運営が可能 ・経費回収率が大きく改善される ・合併処理浄化槽利用者より負担が大きい | ◎ | × | × |

【財政収支予測】

（図②）



- ・使用料収入は、料金改定をしない場合は徐々に減収となりますが、改定により増収が見込めます。
- ・一般会計繰入金（基準外）は減少し、適切な形に近づきます。

経費回収率 71.25%
(R4経費回収率 50.6%)

次回は、第23回気仙沼市下水道事業運営審議会の会議報告についてお知らせします。